

広島市歯科医師会だより



3月号

No.179 (R4.3.11)



目次

広島東洋カープ観戦の集い.....	1 ページ
行事報告	
令和3年度 広島市難病対策地域協議会.....	1 ページ
第6回 支部長・副支部長会議.....	2 ページ
令和3年度 第1回 WEB 学術講演会.....	3 ページ
広島市歯科医療福祉対策協議会 役員会.....	4 ページ
広島市歯科医療福祉対策協議会 総会.....	5 ページ
支部だより	
中区支部.....	6 ページ
東区支部.....	6 ページ
西区支部.....	7 ページ
各部からの報告	
広島市医療安全推進協議会よりーこんな医療トラブルが起こっていますー(総務部).....	9 ページ
ちゅーピー子ども新聞「歯の学校」について(地域歯科保健部).....	9 ページ
「令和4年度学校歯科健康診断を迎えるにあたって」(地域歯科保健部).....	10 ページ
「『お好みワイドひろしま』コロナ禍の口腔ケア」(地域歯科保健部).....	11 ページ
今月の知っておきたいこと(広報部).....	12 ページ
FMちゅーピー(広報部).....	14 ページ
YouTube(広報部).....	15 ページ
誰もが納得！ I L♥ve 広島弁じゃけえ。(広報部).....	15 ページ
各部委員自己紹介.....	16 ページ
会員ひろば	
新入会員紹介.....	17 ページ
会長コラム『柔しく剛く』	
SNS(ソーシャルネットワーキングサービス).....	18 ページ
新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み.....	19 ページ
2月定例理事会報告.....	20 ページ
職員挨拶.....	21 ページ
LINE 公式アカウント 友達募集.....	23 ページ

緊急告知！

広島東洋カープ観戦の集い

試合日時	令和4年4月6日（水）午後6時 試合開始 広島東洋カープ VS 読売ジャイアンツ
場 所	広島 PARCO パーティーベランダ (食事・ソフトドリンク・アルコール付)
募集人数	150名（1医療機関あたり <u>会員を含めて5名を限度</u> ）
費 用	<u>8,500円/名</u>

今年1回目は巨人戦！しかも150名！！

これまで抽選に漏れていた先生方も奮ってご応募ください。

ズムスタの数ある座席の中でも最も食事が美味しいと評判の

PARCO パーティーベランダでカープを応援しましょう。

なお、お申込みは会員、会員家族、従業員に限り、1医療機関あたり5名を限度とさせていただきます。また、会員の同伴は必須とさせていただきますのでご了承ください。

申込要領については同封の申込用紙をご参照の上、募集期間中にFAXにてお申し込みください。

行事報告

令和3年度 広島市難病対策地域協議会

日時：1月27日（木）午後3時30分

場所：オンライン開催（Teams）

オンラインによる標記の会が開催された。

本協議会には、学識経験者として眞崎直子聖マリア学院大学教授、患者会代表として西河内靖泰広島難病団体連絡協議会会長、患者家族代表として米本武（一社）全国パーキンソン病友の会会員、医療職者から大下智彦難病対策センター事務局長、藤江篤志広島市医師会常任理事、三保浩一郎広島市歯科医療福祉対策協議会会員、松井善子広島県看護協会訪問看護事業局訪問看護事業部長、介護職者から道法和恵広島市域居宅介護支援事業者協議会副会長、西谷三恵広島市域訪問介護事業者連絡会中区・東区会長、就労支援として左本勝己広島東公共職業安定所専門相談部門統

括職業指導官、行政から田畑健雄広島市社会福祉協議会地域福祉推進課長らが委員として参加した。

各委員の自己紹介の後、大下委員を座長に選任し、広島市より「広島市の難病対策」について説明があり、各委員より活発な意見、提案があがった。中でも「災害時の対策」、「常時人工呼吸器使用患者への対応」では、難病患者への周知徹底について行政担当者と委員の間で激論が交わされ、意識の高さがうかがわれた。

最後に濱井千年世広島市健康福祉局保健部健康推進課長から「広島市として難病患者に寄り添った支援を継続していきたい」との挨拶があり、閉会した。

第 6 回 支部長・副支部長会議

日時：2月16日(水)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

執行部から熊谷宏会長、瓜生賢副会長、能美和基専務理事が出席した。はじめに熊谷宏会長より「新型コロナウイルス感染症のオミクロン株の影響で本日の支部長・副支部長会もWeb開催を考えたが、お集まりいただき開催することとなりました、本日もよろしくお願いたします」と挨拶があった。報告、協議事項は以下の通りである。

報告		会(Zoom)	
中区支部		1月24日	広島市南区地域保健対策協議会第2回常任理事会・理事会(Zoom)
12月15日	第5回支部長・副支部長会	2月5日	令和3年度広島県短期集中予防サービス実践事例報告研修会(Zoom)
12月30日	年末休日歯科救急医療実施(光山歯科医院)		
12月31日	年末休日歯科救急医療実施(前田歯科医院)		
1月21日	令和3年度中区在宅医療・介護推進連携会議		
東区支部		西区支部	
12月15日	第5回支部長・副支部長会	12月15日	第5回支部長・副支部長会議
12月17日	第10回企画会議(他職種)地域保健対策協議会常任理事会	12月30日	年末休日歯科救急医療実施(佐久間歯科医院)
12月30日	年末休日歯科救急医療実施(ふたばの里歯科)	12月31日	年末休日歯科救急医療実施(田中歯科医院)
12月31日	年末休日歯科救急医療実施((医)あおき歯科クリニック)	1月29日	小児在宅医療講演会(Zoom)
		//	古田圏域「医療と介護の連携会議」(Zoom)
		2月3日	観音圏域「医療と介護の連携会議」(Zoom)
		2月10日	西区在宅医療・介護連携事例検討会
南区支部		協 議	
12月15日	第5回支部長・副支部長会	①中 区	
12月30日	年末休日歯科救急医療実施(あくたがわ歯科クリニック)	・超高齢化社会における「8050」「9060」問題について	
12月31日	年末休日歯科救急医療実施((医)D・F・Cどえ歯科医院)	・新型コロナ感染第6波における歯科医師会のあり方について	
1月6日	新入会面談(林内優樹先生、高橋兼一郎先生)	②執行部	
1月16日	令和3年圏域地域保健対策協議会研修	・新規入会手順について	
		・広島市歯科医療福祉対策協議会総会について	

日時：2月17日(木) 午後7時30分

場所：オンライン開催 (Zoom)

新型コロナの影響により、世間ではオンライン講演会というものが頻繁に行われるようになってきた。広島市歯科医師会においてもその流れにのるのは必須のことであると考え、今回は初めて Zoom を使用し講演会を開催することにした。第一弾として、小野重弘広島大学病院口腔顎顔面再建外科助教に「口腔がん ー早期発見・早期治療の重要性ー」と題してご講演頂き、42人の会員が参加した。

・がんの成り立ち、口腔がんとは？

最初にごがんの成り立ちについての説明があった。日本では二人に一人ががんにかかり、三人に一人ががんで亡くなっている。がんは細胞増殖のバランスが崩れて起こる病気である。発育過程において、がんは発生したときは0.1mm以下の小さなもので、そこから10~20年程の長時間をかけてゆっくり成長するが、1cmを超えたあたりから指数関数的に成長が急激に早くなり治療率が大きく低下する。そうなる前に早期発見をすることで完治を目指すことが可能となる。

口腔がんは、1年間に約20,000人が罹患し、人口10万人に当たり男性は約8人、女性は約3人が死亡する希少がんである。ただ口腔がんの死亡率は日本が約35%なのに対して、アメリカ合衆国では約20%と少ない。また口腔がんの死亡者数が先進国で増えているのは日本だけである。これは早期発見が来ているかいないかが大きな影響を受けているのではないかと小野先生は考えている。

口腔がんの97%は扁平上皮癌(SCC)で、他には唾液腺癌、肉腫、造血器悪性腫瘍、転移性悪性腫瘍などがある。口腔がんの好発部位は舌(60%)で、その内舌縁部がほとんどである。口腔がんの危険因子は喫煙と飲酒が挙げられる。白板症のがん化率は10%ぐらいである。口腔がんの重複癌としては上部消化管癌や肺癌が多い。

・口腔がん早期診断の必要性

ある文献で、歯科医院の歯科衛生士がメンテナンスをするときに、う蝕や歯肉の色はよく見ているが、それと比較して舌の側縁とかを意識されることは少ないと報告されている。先ほど伝えた通りがんの治療のためには早期発見が大事なことなので、是非とも各歯科医院のスタッフの

方にもメンテナンス時、舌や口腔粘膜を診て頂くよう声掛けして頂ければと思う。

がんは発育様式により表在型(白板症にやや硬結が触れる)、内向型(指で触ると硬いしこりがある)、外向型(外向性に発育している)がある。特に内向型は転移率、悪性度は共に高いとされている。

舌のチェックとしてはガーゼなどで舌尖を持ち、触診を行ってほしい。早期がんの診察のチェック項目として。①潰瘍形成があるかどうか、②隆起があるかどうか、③硬さである。

例えば、潰瘍(傷)が出来て治らない(2週間程度)、粘膜の変化した部分から出血しやすい、見た目が汚い、白色と赤色の混在、表面がきれいでも深部が硬いなどがあれば疑ってほしい。判断に迷ったらレーザー治療などせず、様子を見るか紹介してほしい。

・口腔がん治療の実際

手術療法、放射線療法、全身療法(化学療法や免疫療法等)、緩和療法がある。現在は、口腔癌診療ガイドラインの口腔がん診療アルゴリズムにより決まっているのでスタンダード化されている。各治療法共に少し前の治療より改善、進化してきており広島大学等少数の施設でしか行っていない先進的な治療もある。また、今年口腔外科に柳本教授という口腔がん治療のエキスパートの先生も赴任されてきたのでさらに充実していくものと思われる。

講演の最後に再度強調されていたのが、口腔がんは各歯科医院が発見する体制になるように先生方の協力をお願いしたいということだった。

初めてのオンライン講演会ということで、途中まで映像が不鮮明な箇所があったり、音ズレがあったりのトラブルがあったが、ライブで音と映像を各先生に届けるということではできた。修正をしながら次の開催をより良い状態で届けられればと思う。



講演をする
小野重弘 広島大学病院口腔顎顔面再建外科助教

広島市歯科医療福祉対策協議会 役員会

日時：2月19日(土)午後6時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」(Zoom会議)

標記の会が開催された。新型コロナウイルスまん延防止等重点措置の延長(3月6日まで)を受け、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、Zoomを併用した形式で実施した。

能美和基専務理事の開会の辞、熊谷宏会長の挨拶の後、報告事項として令和3年度広島市休日等歯科救急医療事業、在宅訪問歯科健診・診療事業、妊婦歯科健康診査事業、節目年齢歯科健康診査事業の中間報告が各担当理事からあり、そのほかの報告として広島市医療安全推進協議会より広島市域での医療相談・苦情相談(スタッフの業務範囲)について報告された。

議事事項として、第1号議案令和4年度広島市休日等歯科救急医療事業 事業計画(案)について承認を求める件、第2号議案令和4年度広島市休日等歯科救急医療事業 収支予算(案)について承認を求める件、第3号議案令和4年度在宅訪問歯科健診・診療事業 事業計画(案)について承認を求める件、第4号議案令和4年度在宅訪問歯

科健診・診療事業 収支予算(案)について承認を求める件、第5号議案令和4年度妊婦歯科健康診査事業 事業計画(案)について承認を求める件、第6号議案令和4年度妊婦歯科健康診査事業 収支予算(案)について承認を求める件、第7号議案令和4年度節目年齢歯科健康診査事業 事業計画(案)について承認を求める件、第8号議案令和4年度節目年齢歯科健康診査事業 収支予算(案)について承認を求める件が説明され、書面決議となった広島市歯科医療福祉対策協議会総会への上程が承認された。

そのほか協議事項はなかったが、情報共有として学校歯科健診について、広島市学校保健会専門委員会歯科保健対策委員会による学校健診データの電子化に伴う健診表、健診結果のお知らせの内容変更(協議中)について、乳幼児健診の再開時期について、コロナ対応(濃厚接触者になった場合の対応)について報告があった。

最後に栗栖文夫副会長の閉会の辞により終了した。



Zoom会議(役員会)の様子

役 員			委 員	
職 名	氏 名	支 部	氏 名	支 部
会 長	熊谷 宏	広 島 市	波田 佳範	広 島 市
副 会 長	松本 浩一	安 佐	香川 次郎	〃
	栗栖 文夫	佐 伯	宮村 健一	〃
	澤村 豊	安 芸	前島真紀子	〃
	瓜生 賢	広 島 市	河原 利哉	〃
専務理事	能美 和基	〃	内田 雄士	〃
理 事	若林 大輔	〃	田中 信吾	〃
	森本 慎樹	〃	佐久間光俊	〃
	藤田 友昭	〃	前田 羊一	〃
	水内 裕之	〃	中川 誠	〃
	石田 一輝	〃	森川 英彦	〃
	横引 昌樹	安 佐	豊田 育星	〃
	桑原 一通	〃	武田 泰三	安 佐
	加島 弘之	〃	瀬川 和司	〃
	上田 浩大	佐 伯	山脇 典士	〃
	藤井 宗仁	〃	川添 祐亮	〃
	兼池 宏治	〃	大原 将史	佐 伯
	梶川 正文	安 芸	河野 敦志	〃
	山田 純	〃	藤田 裕樹	〃
	野村 俊夫	〃	半澤 泰紀	〃
監 事	椿田 直也	広 島 市	児玉 正治	安 芸
	野村 昌利	安 芸	高山 智行	〃
			藤井 良典	〃
			新谷 宏規	〃

広島市歯科医療福祉対策協議会 総会

2月19日(土)書面開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今回の総会は書面表決となった。

1 報告事項

- (1) 令和3年事業中間報告
- (2) 令和3年度広島市休日等歯科救急医療事業中間報告
- (3) 令和3年度在宅訪問歯科健診・診療事業中間報告
- (4) 令和3年度妊婦歯科健康診査事業中間報告
- (5) 令和3年度節目年齢歯科健康診査事業中間報告
- (6) その他

1 議事事項

- 第1号議案 令和4年度広島市休日等歯科救急医療事業 事業計画(案)について承認を求める件
- 第2号議案 令和4年度広島市休日等歯科救急医療事業 収支予算(案)について承認を求める件
- 第3号議案 令和4年度在宅訪問歯科健診・診療事業 事業計画(案)について承認を求める件
- 第4号議案 令和4年度在宅訪問歯科健診・診療事業 収支予算(案)について承認を求める件
- 第5号議案 令和4年度妊婦歯科健康診査事業 事業計画(案)について承認を求める件
- 第6号議案 令和4年度妊婦歯科健康診査事業 収支予算(案)について承認を求める件
- 第7号議案 令和4年度節目年齢歯科健康診査事業 事業計画(案)について承認を求める件
- 第8号議案 令和4年度節目年齢歯科健康診査事業 収支予算(案)について承認を求める件
- 第9号議案 その他の案件

上記議案は3月4日に議決権行使書の提出が完了し全て議決された。

支部だより

中区支部

令和3年度 国泰寺圏域多職種連携会議

日時：2月18日(金)午後7時

場所：「TKP ガーデンシティ広島」・オンライン開催(YouTube)

標記の会が開催された。

講師には、有田健一(広島原爆養護ホーム舟入むつみ園、呼吸器内科医師(三原赤十字病院))を迎え、「高齢者の日常生活・社会生活における意思決定支援の目指すもの」という演題で行われた。

講師の有田医師は広島県下においては、ACP(人生会議)の権威として高名であり、すでに中区の圏域においては、何度も講演されている。

ACPとはそもそも生前の意思決定という内容なのではあるが、現在のコロナ禍において、高齢者施設では家族の面会がままならぬ昨今、高齢者の意思決定がないがしろにされかねない状態でもある。

一例を挙げれば、有田医師が担当する高齢者施設での入居者は、コロナ禍において、コロナにより命を奪われたく

ないと思う一方で、人工呼吸器(エクモ等)での延命治療を望まないという高齢者が多数見受けられたそう。このことは、「自分らしく生きるための病気との付き合い方や医療を探す試み」という、ある意味ではACPの本質を示している。

現在のコロナ禍の状況は、様々な影響を経済、医療など様々な社会方面において、様々な影響を及ぼしてはいるが、ACPの価値観まで、大幅に変えるものではないと結論付けられて会議を終了した。

なおこの会議には中区支部より、「TKP ガーデンシティ広島」には小松大造氏、オンラインでは波田佳範支部長、香川次郎副支部長、小島将督氏、橋本隆氏が参加した。

東区支部

医療安全研修会 ～ノンテクニカルスキルを活かした医療提供を目指して～

日時：2月22日(火)午後7時

場所：東区総合福祉センター 4階「多目的室」

広島市東区地域保健対策協議会(東区地対協)、広島市東区医師会及び医療法人社団輔仁会太田川病院の共催にて、標記の会が会場・リモートのハイブリッド開催で行われた。川上洋介(広島市東区医師会理事(東区地対協理事))司会のもと、住吉秀隆(広島市東区医師会副会長(東区地対協副会長))の挨拶で始まった。

その後、講演が行われ、演題は「ノンテクニカルスキルを活かした医療提供を目指して」で、講師は伊藤英樹(広島大学病院医療安全管理部教授、座長は満田一博(広島市東区医師会理事(東区地対協理事・医療法人社団輔仁会理事長))が務められた。

チーム医療の現場では、一人の患者に対する診断・治療のために、多数の医療従事者が同時進行的にそれぞれの役割を果たすことが重要であるという考えのもと、講演が始

まった。

チーム医療の成功は、個人の技量のみでは成し遂げられず、ノンテクニカルスキル(組織で問題解決する技術)を駆使し、医療従事者間のリアルタイムな調整をする事で達成されている。

医療の状況は刻々と変化し、調整が必要であり、複雑系モデルと言われる。マニュアルが基本の単純系モデルとは異なりルールをもとにした、トップダウン的な制御ではなく、むしろリアルタイムに調整するボトムアップ的な戦略が成功要因であることを幾つかの具体的な事例を提示され、分かりやすく説明された。

また、失敗事例より成功事例より学ぶことが重要であると強調され、マニュアルから脱却し、ノンテクニカルスキルを駆使してマニュアルから脱却することが大切である

と結論付けられた。

質疑応答の後、堀内賢二広島市東区医師会副会長(東区地対協副会長)が閉会の辞を述べ閉会した。

なお、東区支部から宮村健一支部長、青木健氏、竹本美保氏がZoomにて参加した。



講演をする
伊藤英樹広島大学病院医療安全管理部教授

西区支部

第10回観音圏域「医療と介護の連携会議」

日時：2月3日(木)午後7時

場所：オンライン開催(Zoom)

標記の会が観音地域包括支援センター主催によりZoomで開催された。今回の連携会議では医師、歯科医師、薬剤師、介護職員や民生委員など46名が参加した。平林一郎西区医師会会長の開会挨拶の後、前半は岡田浩幸本会域歯科保健部委員が「歯科医院での感染症対策とオーラルフレイル予防」と題し講演を行った。

講演では、まず歯周病により新型コロナウイルスの感染および重症化リスクが高まるため、口腔ケアが重要であることを説明した。続いて、新型コロナウイルス感染拡大が続く中、歯科医院で行われている感染症対策を紹介し、広島県内歯科医院での歯科治療による感染報告、歯科由来のクラスター発生がないことを強調した。歯科受診による感染リスクよりも受診を控えることで口腔内状態が悪化し、糖尿病などの持病の悪化やウイルス性肺炎の重症化リスクが高まるため、コロナ禍でも歯科受診が必要なことを説明した。

その後、フレイルの前段階であるオーラルフレイルを理解し、予防・改善できれば介護予防につながることを示し、一般的な口腔清掃を行う口腔ケアだけでなく、口腔機能の維持・改善のためにかみかみ百歳体操などの日頃からの運

動が重要であることを伝えた。また、かかりつけ歯科医院をもち定期的に歯科受診し、お口の中から介護予防を行うことを勧めた。歯科医院で行う介護予防として、広島市の総合事業である短期集中通所口腔ケアサービスについて説明し、健診事業として、節目年齢歯科健診、後期高齢者歯科健診、在宅訪問歯科健診も紹介した。

後半ではグループワークがあり、口腔ケアの重要性を理解し、周りに伝えるにはどうしたら良いかをそれぞれの職種立場から意見交換が行われた。「歯科医院では感染症対策がしっかりとられていて、安心して受診できることがよく分かった」「コロナ禍で歯科受診を控えている高齢者が多くいるが、ウイルス性肺炎の重症化リスクなどを伝えて受診するように声掛けをしていきたい」などの意見が挙がった。

最後に岡田委員が総評の後、藤本美佳地域支援担当課長補佐の閉会の挨拶により閉会した。

なお、西区支部からは他に田中信吾支部長、豊田育星氏、濱岡代枝氏、山崎利恵氏が参加した。

第20回 佐伯区・西区合同地域保健対策協議会シンポジウム

日時：2月16日(水)午後7時

場所：オンライン開催(Zoom)

佐伯区・西区地域保健対策協議会、佐伯区・西区医師会共催のもと、オンラインにより標記の会が開催された。

最初に、石田哲西区医師会理事より、「令和3年度在宅医療・介護連携推進事業西区同行研修について」という演題での報告があった。同行研修とは医療・介護関係者に訪問診療に同行してもらい、在宅医療の実際を学ぶ機会を得るために行われているもので、今年度は医師、歯科医師、薬剤師、介護支援専門医、社会福祉士などが参加し、その多くが地域包括ケアシステムの構築に在宅医療の理解が重要であることを実感できた。

次に、藤川光一佐伯区医師会副会長より、電子版命の宝箱についての説明があった。これは、患者の医療情報をネットワークで管理するシステムで、ひろしま健康手帳と連動して、患者の最新の既往歴や投薬歴、アレルギーなどを医師・薬剤師などが閲覧でき、救急時や災害時でも迅速な対応を患者が受けることができるというもので、今後もこのシステムの拡充に努めていく、とのことだった。

最後に、有田裕一マツダ病院歯科口腔外科部長より、「地域医療における嚥下障害への対応」という演題での講演が

あった。嚥下の検査である造影検査と内視鏡検査の説明と実際の症例が示され、嚥下障害のリハビリ方法として、舌接触補助床やバルーン拡張訓練などが紹介された。また、嚥下障害を改善する薬なども多数提示された。低栄養状態で嚥下障害を発症した場合、さらに栄養が不足する悪循環に陥り、最終的に禁食や胃ろうという段階になってしまうので、それを防ぐために適切な食事形態、リハビリ、栄養ルートの選択をすることが重要で、マツダ病院ではその環境が整っているが、在宅では職種が不足するので、柔軟に手分けをする必要があり、多職種連携が大切であることを改めて感じた。

講演終了後、平林一郎西区地域保健対策協議会会長より、高齢者が住み慣れた地域で安心安全な医療を受けられる事業への感謝と、嚥下障害に対する多職種連携の重要性を認識できた大変有意義な会だった、との閉会の挨拶があった。

なお、西区支部からは江盛顕司氏が参加した。

第14回井口台・井口圏域 在宅医療・介護関係者の連携会議

日時：2月19日(土)午後3時

場所：オンライン開催(Zoom)

井口台・井口地域包括支援センター主催により、オンラインによる標記の会が開催された。佐藤悟朗草津病院院長による開会挨拶の後、岡田真理広島市西部認知症疾患医療センター看護師による講演に移った。

演題は「深刻化する老々介護世帯の課題を通して地域でできる取り組み、支援体制づくりを考える」で認知症の妻を介護する高齢の夫に関わる様々な問題点、その解決に向けた支援を紹介された。特に家庭よりも会社や仕事に重点を置いてきた男性ほど、介護疲労や先行きの見えない絶望感が大きく、早めに周囲が気づいて支援の手を差しのべることの重要性を強調された。

最近の老々介護の2事例の提示があり、その後、9グループに分かれ、これらの事例に対する感想、解決に向けた支援について話し合った。

今後の具体的な支援の案も出たが、問題点の早期発見のためには、民生委員や介護関係者だけではなく、日ごろ接する様々な業種の方と連携をとる必要があり、こうした多職種での連携会議の意義を再認識した。

最後に石田美子西区地域支えあい課地域包括支援係専門員より有意義なグループワークが開催できたとの総括があり、閉会した。なお、西区支部からは田中信吾支部長が参加した。

各部からの報告

総務部

広島市医療安全推進協議会より —こんな医療トラブルが起こっています—

広島市医療安全支援センターに寄せられる苦情・相談の現状について具体的相談事例を報告します。なお、個人情報保護の観点から、相談者の個人特定が行われないように、相談内容に関しては、若干の修正を加えております。

事例1：治療について

A 歯科医院で冠をかぶせる治療を受けた後しみるので、歯科医師に伝えたが様子を見るように言われ、半年おさまらないため他院を受診したところ「穴が開いている、これは治療過程で開いたものではないか」と言われた。A 歯科医院に確認して欲しい旨伝えたが、「うちで治療しないのに診る意味がない」といわれた。補償を求めることは可能か？

(センターの対応)

前の歯科医院で穴が開いた確証が必要になる。今の歯科医院に聞かれてはいかがか？希望により医療介護ADRを紹介

(コメント)

患者さんの訴えには、誠意を持って対応することが重要です。また、他院の批判は自院も含めたトラブルに参加することになりますので行わないようにしましょう。

事例2：ジルコニアの脱離

A 歯科医院にてジルコニアを被せてもらったが2週間で外れ、やり直してもらった。その後も1度外れ対合の歯を削られた。その後対合の歯に固形物を食べる時に痛みを生じ、B 歯科で処置してもらった。A 歯科に返金してもらうことは可能か？

(センターの対応)

センターで治療の是非は分からないため、直接 A 歯科に聞くことを勧め、その上で納得できず相談する先として、医療介護 ADR の連絡先を伝えた。

(コメント)

治療を行う前に、治療方法のメリット・デメリット等の説明を十分に行いましょう。

診療のトラブルにおいては、その場しのぎの対応でなく、誠意を持って対応し、丁寧な説明が必要です。

地域歯科保健部

ちゅーピー子ども新聞「歯の学校」について

中国新聞社より発行のちゅーピー子ども新聞におきまして、本会が毎月「歯の学校」と題し読者である子どもたちに向けてお口の健康にまつわる記事を執筆・出稿していることはご承知の通りかと思えます。この度、子ども新聞が3月20日発行号を以て休刊となることに伴い、2月で「歯の学校」は最終回を迎えることになりました。2008年10月の子ども新聞創刊以来、通算160回に渡りご協力賜りました先生方には心より感謝申し上げます。なお、「歯の学校」の今後につきまして、引き続き本会ホームページにおきまして掲載を継続する予定となっておりますが、詳細につきましてはまたご報告させていただきます。会員の先生方におかれましては引き続きよろしくお願ひ申し上げます。



「令和4年度学校歯科健康診断を迎えるにあたって」

昨年末、公益社団法人日本学校歯科医会より「学校歯科医の活動指針令和3年度改訂版」が発刊されたが、付録として「学校歯科健康診断における歯列・咬合および顎関節の診査基準の見直し」および「健康診断の流れと要点」もセットになっている。この度、日本学校歯科医会のご厚意により、それらを本会ホームページ会員用サイトにおいて自由にご覧いただけるようになった。間もなく令和4年度学校歯科健康診断を迎えるが、先生方にとって一助になれば幸いである。

学校歯科医の活動指針

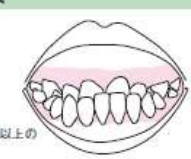




令和3年 改訂版

公益社団法人 日本学校歯科医会

● 児童生徒健康診断票（歯・口）記入方法 ●

顎関節	顎関節の状態について、異常なし、定期的観察が必要、専門医（歯科医師）による診断が必要、の3区分について、それぞれ0、1、2で記入する。
歯列・咬合	歯列の状態、咬合の状態について、異常なし、定期的観察が必要、専門医（歯科医師）による診断が必要、の3区分について、それぞれ0、1、2で記入する。
歯垢の状態	歯垢の付着状態について、ほとんど付着なし、若干の付着あり、相当の付着あり、の3区分についてそれぞれ0、1、2で記入する。
歯肉の状態	歯肉炎の発症は歯垢の付着とも関連深いものであるが、ここでは歯肉の腫脹や退縮などの歯肉症状からみて、異常なし、定期的観察が必要、専門医（歯科医師）による診断が必要、の3区分について、それぞれ0、1、2で記入する。
歯式	イ 現在歯、要観察歯、むし歯、喪失歯、要注歯乳歯は歯式の該当歯に該当記号を付する。 ロ 現在歯は乳歯、永久歯ともに該当歯を斜線または連続線線で消す。 ハ 喪失歯は、むし歯が原因で喪失した永久歯のみとする。該当歯に△を記入する。 ニ 要注歯乳歯は、保存の適否を慎重に考慮する必要があると認められた乳歯とする。該当歯に×を記入する。 ヒ むし歯は、乳歯、永久歯ともに処置歯○または未処置歯□に区分する。 ヘ 処置歯は、充填、被膜により歯の機能を営むことができると認められる歯で該当歯に○を記入する。ただしむし歯の治療中のもの、処置がして居るがむし歯の再発等により処置を要するものは未処置歯とする。 ト 永久歯の未処置歯□は、たまたみに処置を必要とするものとする。 チ 要観察歯は主として検診にて明らかならざる病状が確認できないが、むし歯の初期病変の徴候（白濁、白斑、褐色斑）が認められ、その経過を注意深く観察する必要がある歯で該当歯に◎と記入する。 具体的には、 1 小窩状溝では、エナメル質の實質欠損は認められないが、う蝕の初期病変を疑うような褐色、黒色などの着色や白濁が認められるもの。 2 非特異的では、エナメル質の實質欠損は認められないが、凹坑を疑うような白濁や褐色斑等が認められるもの。 3 その他、例えば歯根面や修復物下部の着色変化、1、2の状態が多数に認められる場合等地域の歯科医療機関との連携が必要な場合が該当する。この場合は学校歯科医師見解に「CO 要相談」と記載する。 探針は、ブラーク・食物残渣の除去・汚染物の有無の確認を目的とする検査の補助器具として用いる。探針は先が鋭利なものを選び、用いるときは歯軸方向に強い圧を加えず、歯面に沿って水平方向に動かす。
歯の状態	歯式の欄に記入された当該事項について、上下左右の歯数を集計した数を該当欄に記入する。
その他の疾病及び異常	病名及び異常名を記入する。
学校歯科医所見	学校保健安全法施行規則第9条の規定により学校においてとるべき事後措置に関連して学校歯科医が必要と認める所見を記入押印し、押印した月日を記入する。*検査を行っている場で記入するのが良い。 1 保健調査の結果と視診触診の結果から必要と認められる事項 2 CO・CO要相談 3 歯肉の状態(1)、(2)の者に対しては歯垢と歯肉の状態及び生活管理などを総合的に判断してGO:歯肉疾患要観察者、歯科医による診断と治療が必要な場合はGのいずれかを記入する。 GO 歯肉疾患要観察者とは、歯垢があり、歯肉に軽度の炎症徴候が認められているが、歯石沈着が認められず、注ぎ深いブラッシング等を行うことによって炎症徴候が消退するような歯肉の保有者をいう。
事後措置	学校保健安全法第9条の規定により学校においてとるべき事後措置について、特設の事後措置を要しない者(0) 学校における保健指導(実技指導を含む)や健康診断等を行うのみ者(1)、地域の歯科医療機関において精密検査若しくは診断や治療を受けるよう、指示する者(2)の3区分について記入する。具体的な措置内容を明記する必要がある場合は空欄に記入する。

咬合判定「2」の基準

■ 下顎前突  前歯部2歯以上の逆被蓋	■ 上顎前突  オーバージェット オーバージェットが7-8mm以上(デンタルミラーの奥行の1/3以上)	■ 齧生  隣接歯が互いの歯冠半径の1/4以上重なり合っているもの
■ 正中嚙噛  上顎中切歯間の空隙が6mm以上(通常のデンタルミラーのホルダーの太さ以上)	■ 錯咬  上下顎前歯切線間の空隙が6mm以上通常のデンタルミラーのホルダーの太さ以上)。ただし、萌出が歯冠長の1/3以下のものは除外	■ その他 これら以外の状態で特に注意すべき咬合並びに特記事項(例えば、過蓋咬合、交叉咬合、該状咬合、逆被蓋(たとえ1歯でも咬合性外傷のあるもの)、軟組織の異常、過剰歯、開歯した著しい咬耗など)

「児童生徒健康診断票（歯・口）記入方法」より抜粋

過蓋咬合



図24 判定 2 過蓋咬合、上顎前突、口蓋粘膜傷害

図25 小学校高学年、判定 2 著しい過蓋咬合

「学校歯科健康診断における歯列・咬合および顎関節の診査基準の見直し」より抜粋

『『お好みワイドひろしま』 コロナ禍の口腔ケア』

日時：2月4日(金)午後6時10分

場所：NHK 広島放送局

NHK 総合で放送されている「お好みワイドひろしま」(広島県域毎週月曜～金曜午後18時10分)の番組のコーナー内で「コロナ禍の口腔ケア」というテーマで放送があり、若林大輔地域歯科保健部理事が取材対応した。

番組内では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大ともなう歯科への受診控えは、本来必要な口腔ケアが受けられないことで虫歯や歯周病の悪化を引き起こす可能性があり、適切な口腔ケアが、細菌やウイルスの感染予防や感染による重症化予防に効果があることを説明した。また、新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化を踏まえ、家庭での口腔ケアを見直そうという趣旨で、基本的なブラッシング法について解説した。また、マスク生活による口呼吸の有害性と、唾液腺マッサージによって唾液量を増やすことで口腔乾燥を防ぎ、歯周病やむし歯の予防に役立つことを説明した。

最後に、口腔ケアが大切な今こそ、自宅でのケアはもちろん、かかりつけの歯科医院で適切な口腔ケアを受けたいとお願いして終了した。先行き不透明なコロナ禍にあって、このようにマスメディアに取り上げられたことは大変意義があり、歯科受診が促進されるよう、本会としても様々な形で積極的に取り組む所存である。



放送の様子

広 報 部

記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

新型コロナウイルスに関する最新の情報はこちらをご参照ください

内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策

<https://corona.go.jp>



厚生労働省 新型コロナ感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html



広島県 新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/>

広島市 新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



今月の知っておきたいこと

▼第115回歯科医師国家試験の総評と今後の展望

WHITECROSS (2022年2月16日)

<https://www.whitecross.co.jp/articles/view/2181>

2022年1月29日・30日に第115回歯科医師国家試験が行われた。今回は第115回歯科医師国家試験の傾向・今後の取り組み方などについて述べたい。

第115回歯科医師国家試験は、昨年行われた過去10年間で最難関といっても過言ではなかった第114回歯科医師国家試験と比較し、難易度はやや低下していたように感じる。ただ、平易な問題と難易度の高い問題の差が大きく、必修を含め相対的な難易度はやや高めの試験であったといえるだろう。



▼2022年度診療報酬改定の個別改定項目についての答申結果を発表 中医協

WHITECROSS (2022年2月16日)

<https://www.whitecross.co.jp/articles/view/2166>

中央社会保険医療協議会(以下、中医協)は2月9日に行われた中医協総会で、2022年度診療報酬改定の個別改定項目についての答申結果を発表した。今回発表された内容は、昨年発表された2022年度診療報酬改定の基本方針4つに基づいたものである。(参照: [2022年度診療報酬改定の基本方針について 厚労省](#))

- ① 新型コロナウイルス感染症等にも対応できる、効率的・効果的で質の高い医療提供体制の構築
- ② 安心・安全で質の高い医療の実現のための医師等の働き方改革等の推進
- ③ 患者・国民にとって身近であって、安心・安全で質の高い医療の実現
- ④ 効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の向上



ニュースピックアップ

▼「コロナ保険」加入が殺到、数百円の掛け金で受け取り数万円の商品も…一部で販売停止

yomiDr. 2022年2月4日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20220203-OYT1T50216/?catname=news-kaisetsu_news

新型コロナウイルスの感染急拡大で、感染した時に一時金が受け取れるコロナ保険に加入が殺到している。保険料は数百円と少額だが、数万円以上が受け取れる商品もある。保険会社は契約が想定を上回り、販売停止や保険料の値上げを迫られている。

◎日本歯科医師会ではメンバーズルームで、コロナ休業補償の保険として、新型コロナウイルス感染症対応「日本歯科医師会休診保証制度」<事業活動総合保険(ビジネスマスター・プラス)>紹介しています(日歯会員番号でのログインが必要)。

(参考サイト)日本歯科医師会 HP→

<https://www.jda.or.jp/member/d003247>



▼母親由来の口腔細菌は、母乳栄養児より人工乳栄養児で多い 九州大

WHITECROSS (2022年2月16日)

<https://www.whitecross.co.jp/articles/view/2167>

九州大学は1月25日、生後4ヶ月の乳児の口腔では母親由来の口腔細菌が定着していること、さらに母親由来の口腔細菌が占める割合は母乳栄養児よりも人工乳栄養児において有意に高くなっていることを明らかにした。この研究は、九州大学大学院歯学研究院口腔予防医学分野の影山伸哉助教、山下喜久教授らの研究グループによるもの。研究成果は国際学術誌 mBio に掲載された1)。今回の結果から、母親の口腔細菌が乳児の口腔に移行していること、また母親由来の口腔細菌の定着は乳児の栄養方法と強く関連することが示唆された。

出典

[母子間の口腔細菌共有を高精度に検証～母乳栄養児と比べて、人工乳栄養児ではその共有量が多いことが明らかに～ \(九州大学プレスリリース\)](#)



▼梅毒感染者、昨年最多の7873人... SNS通じ不特定多数との性交渉が増加か

読売新聞 (2022年2月15日)

<https://www.yomiuri.co.jp/medical/20220214-OYT1T50121/>

性感染症の「梅毒」の感染拡大が続いている。国立感染症研究所によると、2021年の全国の感染者は7873人(速報値)で、現在の調査方法となった1999年以降で最多となった。コロナ禍でインフルエンザなどの感染者が減る一方で梅毒が広がる理由について、専門家はSNSを通じた不特定多数との性交渉の増加などを挙げている。



▼コロナ経口治療薬 200万人分購入 政府とファイザー最終合意

THE SANKEI NEWS 2022年2月1日

<https://www.sankei.com/article/20220201-PLGNEBJBRZOKLB2GWIZZ5GVSHE/>

後藤茂之厚生労働相は1日の記者会見で、米製薬大手ファイザーの新型コロナウイルスの経口治療薬について、同社と本年中に200万人分を購入する最終合意を交わしたことを明らかにした。政府は昨年12月、同社と基本合意していた。

◎政府は具体的な納入時期などに関しては「企業との間で調整中」と述べるにとどめたとの事。薬事承認後に初回分として約4万人分が納入されると説明して「2月中旬には、何とか承認するような形で作業を進めていきたい」と述べました。どれくらい有効性があるのか、今後注目です。



▼塩野義のコロナ飲み薬、条件付き 早期承認制度検討＝岸田首相

REUTERS 2022年2月7日

<https://jp.reuters.com/article/kishida->



[sionogi-idJPKBN2KC09X](https://www.sankei.com/article/20220213-A7GEAK7E3VN5BEX5Q5DVMARVMA/)

岸田文雄首相は7日の衆院予算委員会で、塩野義製薬が開発中の新型コロナウイルスの飲み薬について「条件付き早期承認制度」の適用を検討すると述べた。

◎経口治療薬(飲み薬)の開発は大変重要であり、研究開発への支援のほか、治験費用への補助など実用化を加速するための後押しが求められています。

▼糖尿病でコロナウイルス量増加、スーパーブレッターの一因か

THE SANKEI NEWS 2022年2月13日

<https://www.sankei.com/article/20220213-A7GEAK7E3VN5BEX5Q5DVMARVMA/>

糖尿病や脳梗塞などの基礎疾患を持つ人が新型コロナウイルスに感染した場合、それ以外の感染者に比べ、体内のウイルス量が非常に多かったことが東京医科歯科大の分析で分かった。

◎基礎疾患があると感染したら重症化しやすいと聞きますが、さらにスーパーブレッターになる可能性があるならば、さらに感染しないように気をつけなければいけませんね。ただ基礎疾患がなくても、気を抜かず、対策をしっかり続ける必要があると考えます。



▼みなし陽性、自主療養…崩れる「検査・受診」の原則 感染激増で医療省力化

THE SANKEI NEWS 2022年2月6日

<https://www.iza.ne.jp/article/20220206-NKVKCK26ZBJLFPSAWQ3X27AHGU/>

新型コロナウイルスのオミクロン株による感染急拡大で、「検査、受診」という初期対応の原則が崩れつつある。東京都や大阪府などでは、感染者の濃厚接触者となった同居家族に発熱症状などが出た場合、検査をせずに医師の判断で感染者とみなす仕組みを導入。自主的検査で陽性を確認後、医療機関を受診せずに自宅療養することを認める自治体もあり、圧倒的な感染者数を前に対応の省力化を余儀なくされている。

◎1月以降、過去の波を大幅に上回る感染者数と濃厚接触者が出たため、発熱外来の受診や検査需要が急増し、医療機関の負担軽減が急務となっています。



▼インフルエンザ感染報告、2季連続で低水準…コロナ対策奏功・発熱への意識変化も

yomiDr. 2022年2月13日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20220213-OYT1T50176/?catname=news-kaisetsu_news

新型コロナウイルスの「第6波」が続く中、インフルエンザの感染報告は2季連続で極めて低い水準で推移している。今季(昨年9月以降)は過去最少だった昨季の反動で大流行するとも予測されていただけに、流行予測の難しさを示した格好だ。

◎発熱や体調不良時に病院へ行くなどすぐ対応していることが、インフルエンザへの感染対策にもなっているのではとの意見があるそうです。感染対策は最も大切ですが、体調を崩した時に素早く対応することも重要です。



▼まん延防止「効果実感ない」過半数 追加接種「早期に」4割

山陽新聞 2022年2月11日

<https://www.sanyonews.jp/article/1227931/>

新型コロナウイルス感染拡大を受けて岡山、広島県などに適用されている「まん延防止等重点措置」について、山陽新



聞社が効果をどの程度実感しているか通信アプリのLINE(ライン)を使って尋ねたところ、「感じていない」とした回答者が過半数を占めた。

◎岡山県全域の飲食店に営業時間短縮や酒類提供停止を要請するなどしているが、適用後も感染者が増加しているため、今回は、飲食店は関係ないという意見も多いようです。また、感染症法上の位置づけを季節性インフルエンザ相当に見直すべきだという意見も複数あったようです。

▼コロナ陰性証明求めないで 職場復帰で富山県呼びかけ 医療機関の負担に

富山新聞 2022年2月11日

<https://www.hokkoku.co.jp/articles/tym/657661>

富山県内で新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者が待機期間を終えて職場に復帰する際、不要にもかかわらず、陰性証明を求める人が相次ぎ、医療機関のさらなる負担につながるケースが出ている。県は10日、医療資源を有効に活用するため、濃厚接触者となった社員に陰性証明を求めないよう企業に呼び掛けた。

◎富山県では、複数の医療機関や医師会から、陰性証明の対応で負担が増加しているとの声が県に寄せられており、企業に不要な陰性証明を社員に求めないように呼びかけました。国は、濃厚接触者が感染者との最終接触日から7日間経過し、無症状であればそのまま職場に復帰できるとしています。



▼塩野義と島津、下水からコロナ検出する新会社

THE SANKEI NEWS 2022年2月8日

<https://www.sankei.com/article/20211207-F3YA4Y5QWNI5NFPWNR4EGYZW6I/>

塩野義製薬と島津製作所は8日、下水から特定エリアでの新型コロナウイルスの感染状況を調査する新会社を共同で設立したと発表した。感染者の糞便に含まれるウイルスをPCR検査で検出する。

◎この会社では、マンホールや下水処理場で試料を採取し、特定エリアでの感染状況の調査結果を依頼主に報告します。この検査では発症前や無症状でもウイルスを検出できるため、検知のタイミングが早いそうです。欧米では社会インフラとなっているということですが、日本ではどうでしょうか。



▼立てこもり事件教訓に研修動画 埼玉県、医療従事者ら向け

THE SANKEI NEWS 2022年2月10日

<https://www.sankei.com/article/20220210-HX5EF6CMMZJUTMM5PGFYJ2DVSU/>

埼玉県の大野元裕知事は10日の記者会見で、医師が患者の親族に散弾銃で撃たれて死亡した同県ふじみ野市での人質立てこもり事件を受け、在宅医療現場での暴力などに関する医療従事者向け研修動画を製作すると明らかにした。

◎我々も訪問診療先でこんな目に合うかもしれません。患者や患者家族からの暴力に対策するのも必要ですが、今一度インフォームドコンセントを見直してみましょ。



▼21年のランサム被害146件 大幅増、医療機関も標的

沖縄タイムス 2022年2月10日

<https://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/908858>

世界各国で被害が拡大している身代金要求型のコンピューターウイルス「ランサムウェア」による国内の被害報告が、2021年に33都道府県で146件あり、大幅に増加しているこ



とが10日、警察庁のまとめで分かった。

◎レセコンの普及、オンライン請求への移行により、我々の日常業務に使うコンピューターもランサムウェアの被害に遭う可能性が高まっています。今のところ各人が対策をするしかありません。皆さん被害に遭わないようにしましょう。UTM(統合脅威管理: Unified Threat Management)の導入も一つの方法でしょう。

▼浴室で体調不良、寒暖差で「早朝・深夜の入浴や長風呂は危険」…救急要請が急増

yomiDr. 2022年1月28日



https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20220127-OYT1T50075/?catname=news-kaisetsu_news

冷え込みの激しい季節に、浴室などで寒暖差が体調不良を引き起こす「ヒートショック」の危険性が高まっている。千葉県内各地の消防局によると、浴室内での救急要請は昨年10月から今年1月中旬まで、350件以上あった。コロナ禍で自宅で浴槽につかる人も増え、消防などは注意を呼びかけている。

◎ヒートショックは、11月から2月までの時期に多発します。部屋と脱衣所の寒暖差を低くし、お湯につかるのは10分以内にするのが推奨されています。

FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオ

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から

3月2日放送分

「保険診療と自費診療の違い」

広島市歯科医師会 光山素夫氏

歯医者さんで自費診療の提案を受けたことはありませんか。保険診療は多くの方の医療を保障する大事な制度ですが、優れた素材や治療法が対象となっていない場合があります。患者さんの状態によっては自費での選択肢をお話することがあります。どのような違いがあるのか広島市歯科医師会の歯科医師、光山素夫さんが解説します。

3月16日放送分

「子どもの矯正治療」

広島市歯科医師会 尾山奈々子氏

お口ポカン、歯並び、かみ合わせなど、子どものお口のこと気が気になっていませんか。受け口になっている、前歯が出ている、歯並びががたがたしている一など、さまざまなケースがあります。子どもの矯正治療について広島市歯科医師会の歯科医師、尾山奈々子さんが説明します。

広島市歯科医師会作成 アニメーション「ハハ姉妹」見てね！

いつもゆかいなハハ姉妹が日常生活の中で分かりやすくお口にまつわるちょっと役に立つ話を色々教えてくれます♪

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLYf4zcYp6dvghisn8nQlsotsZC6ZFFs3q>



【公式】広島市歯科医師会広報 チャンネル

ぜひご視聴ください

チャンネル登録お願いします

1月5日放送分

「歯科医院の感染対策」

広島市歯科医師会 森川英彦氏

<https://youtu.be/z3552Twj614>



1月19日放送分

「神経を取った歯はどうなるの」

広島市歯科医師会 中川誠氏

<https://youtu.be/CtNFUIhhvws>



広報部より連載記事をぼちぼちと発信いたします。気長にお付き合いのほどを。

誰もが納得！ I L♥ve 広島弁じゃけえ。

～第28回～ ネブルってなんだ??

富士見太郎さんは60歳の歯科医師で生粋の広島弁話者です。時々広島弁と標準語の違いに気づかずに、強引に話を進めることがあります。根は心優しく患者さんやスタッフからの評判も上々です。今日は小学二年生の女の子、A子ちゃんが左下頬側歯肉の腫脹を気にして来院しています。症状とレントゲン検査の結果、左下Dの根尖性歯周炎なのは明らかなので、A子ちゃんと付き添いの母親に原因と治療方針について説明します。髄腔が開いたところで、簡易防湿下での根管治療へと移行しましたが、どうもA子ちゃんは治療中の歯が気になってしょうがない様子です。舌が歯に行くたびに富士見さんは「ネブラんのよ！」と声をかけますが、A子ちゃんにはどうも通じていないのか、治療中の歯を舐めてしまい、次第に富士見さんの声かけもヒートアップします。それでも富士見さんは苦労しながら感染根管処置を終えました。治療を終えたA子ちゃんは母親にこう言いました。「ネブラんって何？」……。



広島県内では一般的にネブルは使われていますよね。ネブルはアイスキャンディーをはじめとして、「舌を使って舐める」の意味で使われていますが、人によっては舐めるより下品な言葉、下品な行為に対する表現との印象もあるようです。果たしてそうなのでしょうか。標準語と方言の二層構造が普及した近代日本においては、おうおうにして方言＝下品、標準語＝上品との勘違いが横行しているように感じる筆者です。

ネブルは広島県のみならず、西日本の広範囲で一般的に使われていますが、東日本の人には耳に馴染みがない言葉です。ネブルが通じる境界線は中京地方や石川県辺りにあると言われていいますので、典型的な西日本方言であるといえます。他の西日本方言の例とえば、「暖かい、温かい」を「ぬくい、ぬくとい」と表現する例が知られていますが、広島県では圧倒的に「ぬくい」ですよ。

ネブルとナメルは漢字表記すると、同じ漢字を使いながら舐める(ねぶる)と舐める(なめる)と、送り仮名で区別されます。同様にヌクイとアタタカイも温い(ぬくい)と温かい(あたたかい)と表記されます。それにしても、双方とも西日本方言の方が短い送り仮名を使うのはなぜでしょうか。また、ヌルイも温い(ぬるい)と表記しますから、話はややこしいですね。「おーい！風呂が温いぞ！」と文字にすると、湯がヌルイのかヌクイのか、風呂に火をくべるべきなのか、満足しているのかサッパリ区別が付きません(笑)。

歯科医師である我々は送り仮名にも注意しながら文章を書くようにしましょう。

※参考文献 「広島県方言の研究」広島県師範学校郷土研究室編

※国語学的な知識を持たない一介の歯科医の見解であり、間違っているかもしれません(笑)。

各部委員自己紹介

本川雅英委員

広島市歯科医師会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。この度、縁あって広報部委員を務めさせていただくこととなりました本川雅英と申します。私は、広島生まれ長崎育ちですが、大学から現在まで広島に在住しております。

本会会務に携わらせていただくようになったのは、水内裕之広報部理事にお誘いいただいたことがきっかけでした。会務が初めてで何もできない私を広報部の先輩方は優しくご指導下さり、感謝の念に堪えません。今後、微力ながらも誠心誠意会務に励む所存です。

話は変わりますが、現在の私の趣味は、生き物を飼うことと軽く運動することです。現在、我が家で飼育されている生き物は、カブト虫、ハムスター、メダカです。カブト虫は、毎年夏に長崎の実家で成虫を捕まえてくるので、孵る幼虫が多すぎて里親探し我が家での秋の恒例行事となっております。ハムスターはジャンガリアンハムスターを2匹飼い始めたのですが、子供が2匹生まれ、1匹亡くなったので計3匹を飼育しております。家族は誰も自発的に床替えをしないので、臭いがゲージ周辺に漂いだと息子を巻き込んで床替えをするのですが、大学院生の頃とやってることが変わってないと思う日々です。そして、メダカです。メダカの前には、ネオンテトラやベタなどの熱帯魚やウーパールーパーなどを飼育していたのですが、繁殖までには至らず、メダカを飼育するようになりました。過去に飼育した品種は、幹之(みゆき)、緑光、楊貴妃、鱗光、天女の舞、魔王、スーパー魔王改などですが、室内飼育特有のエアコンによる急激な温度変化や水質変化、日照不足のため全て星になってしまいました。それでも懲りずに、今度は忘却の翼、サファイアを外飼育しており、粉餌や生き餌として飼育したミジンコを与えながら、太らせて越冬させようとしております。少なくとも月に1回以上はペットワールドアミーゴ宇品店に通っておりますので、もしお見かけの際には、温かく見守っていただければ幸いです。

日頃の運動は、ストレス解消と健康維持に不可欠ですが、過去に右膝の靭帯を再建した既往があるため、激しい運動は控えており、以前は近所のプールで泳いでいました。最近では、遅い時間でもマイペースにできることから、自宅まわりを軽くランニングするようになりました。

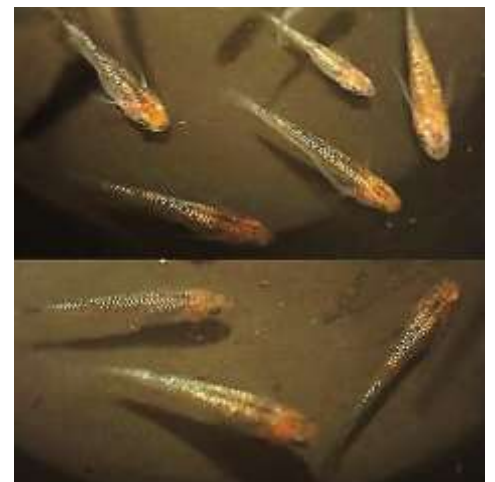
広報部では、多くの経験をさせていただきながら精進を重ねたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



誕生日プレゼント



サファイア(黒幹之青系ラメ)



忘却の翼(ヒレ長オーロララメ)

会員ひろば

新入会員紹介



林内優樹

広島市歯科医師会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、広島市歯科医師会に入会させて頂きました林内優樹と申します。

私は、昭和大学歯学部卒業後、広島大学病院にて卒後臨床研修を修了し、広島大学大学院障害者歯科学講座に入局、学位・認定医を取得致しました。大学院卒業後は、広島大学病院障害者歯科にて歯科診療医、広島市南区の医療法人社団 高橋歯科医院にて約5年間勤務させて頂き、2022年4月に南区東本浦町にて「わかば歯科 小児歯科」を開業させて頂く運びとなりました。

入会に際しまして、多くの先生方にご助言・ご指導を賜り誠にありがとうございました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。今後も微力ではありますが、地域医療に貢献できるように精進して参ります。

まだまだ未熟者ですので、先生方にはご迷惑をお掛けすることと存じますが、御指導・ご鞭撻頂きながら、歯科医師として成長出来ればと考えております。今後とも何卒よろしくお願い致します。

熊谷先生の趣味はなんですか？と聞かれることがあります。毎日毎日目の前の歯科医師会会務に追われ、所属するロータリークラブの業務をこなす、その片手間に診療する日々です。心の中で密かに「子供の頃やっていたピアノを再開したいなあ」とか「剣道を再開したいなあ」という思いはありますが、なにも実現できていません。

そんな中で、継続してやっている、という意味であえて答えとすれば“SNSであるFacebookへの投稿”が趣味といえるかもしれません。

SNS との出会いは Twitter(ツイッター)でした。平成 21 年、縁あってゆざき英彦現知事が初挑戦した広島県知事選挙において、本会とは関係なく個人で選対本部のコアメンバーとして参加しました。選挙活動中、移動の車の中で彼が頻繁にスマホからメッセージを入力していたのが Twitter でした。

それを期に私もはじめましたが、Twitter は匿名での投稿が許されること、字数の制限があることなどから程なくして Facebook をはじめ、現在に至っています。

Facebook は、本会会長としてではなく熊谷宏個人として、日々思うことや感じたことなどを徒然なるままに投稿しています。SNS には色々と気をつけなければならぬこともあるので、

Facebook 上で友達となっている方々だけが見られるような制限をかけて投稿しています。

個人とはいえ、普段考えることの多い歯科に関することも頻繁に投稿しています。歯科に関しては、友達の中でもさらに歯科医師だけを対象として公開しています。投稿には色々な反応があり、楽しくもあり勉強にもなっています。

あくまで個人の立場で書いていますので、本コラムをはじめ本会会長としてはなかなか踏み込めない部分も含めてかなり過激に投稿しています。ご興味のある方は友達申請してみてください。本会会員の方は喜んで承認させていただきます。

また Facebook では、過去の思い出として数年前の同じ日に投稿した内容を見ることが出来ます。毎年この時期は子供の受験を抱える親としての様々な思いを投稿しています。日記代わりにもなり、過去に考えていたことや思っていたことを読み返すことも楽しみです。なによりも、自分の思いを文章にすることで、頭が整理されます。そして、ストレス発散にもなっています。

寒天アルジネート印象が硬化するまで印象用トレーを保持する間に「Facebook で次々に投稿しようかなあ」と考えるようになると中毒症状の初期ですからご注意ください。笑。

会長コラム (第 32 回)

柔しく剛く

SNS
(ソーシャルネットワーキングサービス)

熊谷 宏

さて、このような SNS ですが本会としても対外並びに対内広報のツールとしてその有効性を考えなければならない時代になっています。実際に宮城県歯科医師会は Twitter アカウントを開設しており、日本歯科医師会は Facebook 公式ページを開設し、積極的に各種情報を配信しています。その他にも、都道府県や郡市地区の歯科医師会や歯科医師連盟がこれら SNS を利用する事例も多くなっています。

本会では、第一歩として本会 LINE 公式アカウントを取得し会員向けの対内コミュニケーションツールとして利用を始めたところです。ここでは、最新の情報をリアルタイムで配信しておりますので、ぜひ登録をお願いします。

本会の対外的広報活動としては、まずはホームページの充実を優先させながら、その他の SNS 導入について検討していきたいと思っています。

新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み

(2022年2月)

新型コロナウイルス感染症対策これまでの経緯(2022年2月1日～2月28日)

世界・日本での経過	2022年	広島市歯科医師会での対応
タイ 感染再拡大中でも1日より入国者への隔離免除を再開 国内累計感染者数 2,825,774人 世界累計感染者数 373,229,380人	2月1日	だより号外発送 KN95 マスク配布
文科省 新型コロナウイルスによる休校や学級閉鎖の期間の 目安を短縮へ	2月2日	
	2月3日	抗原検査キット購入のお知らせ(FAX)
広島県内でオミクロン株「BA.2系統」初確認	2月4日	
全国の新規感染者 初の10万人超	2月5日	
米務省 日本への渡航警戒レベルを最高レベルに引き上げ	2月7日	
新型コロナウイルスの累計の感染者数が世界全体で4億人超	2月8日	
厚労省 ファイザー製の新型コロナウイルス感染症の飲み薬 を承認 国内累計感染者数 3,682,843人 世界累計感染者数 399,600,607人	2月10日	
首相 オミクロン株水際対策 緩和に向けた検討を行う方針	2月12日	
国立感染症研究所がゲノム解析 オミクロン株少なくとも4 系統が海外から流入の可能性	2月13日	
厚労省 ファイザー製ワクチン1000万回分を追加購入するこ とで合意したと発表	2月14日	
厚労省専門家会議 第6波は2月上旬にピークを越えたと分 析	2月16日	
政府 大阪など17道府県についてまん延防止等充填措置の延 長決定	2月18日	
堀内ワクチン担当相 将来的に接種券のデジタル化を検討と の考え示す	2月19日	
国内累計感染者数 4,426,905人 世界累計感染者数 418,650,474人	2月20日	
豪 すべての国と地域からの渡航者受け入れ再開 ワクチン 接種など条件に	2月21日	三役会
厚労省 5～11歳へのワクチン接種 自治体の必要経費全額 助成へ	2月22日	
ロシアがウクライナに軍事侵攻開始		
田辺三菱製薬 子会社が開発の新型コロナワクチン カナダで 承認	2月24日	1歳6か月児及び3歳児集団 健康診査の再開について (FAX)
米CDC 感染拡大落ち着いた地域は「マスク着用不要」の新指 針を発表	2月25日	
東京医科歯科大学 国内の主流は「BA.1.1」新型コロナ オミ クロン株とする調査結果を発表	2月27日	
政府 コロナワクチン3回目接種終了 全人口の19.3%と公表	2月28日	

集計元情報：Johns Hopkins 大学、厚生労働省、各自治体

※以前のは前号参照

2月定例理事会報告

「部外報告」

- 1月27日 個別指導立会
 " 国保組合理事会
 2月2日 広島市歯科医療福祉対策協議会予算説明会
 2月3日 社会保険診療報酬支払基金再審査
 " (県歯)会員サポート室会議
 2月4日 広島市保健所運営協議会
 2月5日 【Web会議】(県歯)郡市市長・専務理事合同会議
 " 【延期】(県歯)第40・41回合同新入会員研修会
 2月9日 国保組合理事会
 2月16日 広島県国保連合会歯科再審査部会
 2月17-21日 広島県国保連合会歯科審査部会
 2月18-23日 社会保険診療報酬支払基金審査
 2月19日 【ハイブリッド会議】広島市歯科医療福祉対策協議会役員会
 " 【書面審議】広島市歯科医療福祉対策協議会総会

(連盟関係)

「総務関係」

- 2月12日 B型肝炎抗体検査
 2月16日 第6回支部長・副支部長会
 2月17日 令和3年度広島市歯科医師会WEB学術講演会
 2月21日 三役会
 2月22日 定例理事会

(慶弔関係)

- 2月6日 中区支部 香西淑子先生ご尊父様ご逝去

(入会退会関係)

- 2月4日 南区支部 林内優樹先生入会
 2月7日 入会後面談(周藤巧先生)、
 入会前面談(松岡祐一先生)
 2月8日 入会前面談(八谷文貴先生)、
 入会後面談(林内優樹先生)

(県歯理事会関係)

- 2月3日 (県歯)理事会

(1) 総務部 (森本理事)

- 1月27日 (県歯)新規個別指導
 2月1日 休診レセプト点検
 2月3日 社会保険診療報酬支払基金再審査
 2月7日 入会後面談(周藤巧先生)
 " 入会前面談(松岡祐一先生)
 2月8日 入会前面談(八谷文貴先生)
 " 入会後面談(林内優樹先生)
 2月9日 【Web会議】定例委員会
 2月10日 【Web会議】(県歯)保険部常任委員会

- 2月18-23日 社会保険診療報酬支払基金審査
 2月19日 【ハイブリッド会議】広島市歯科医療福祉対策協議会役員会
 " 【書面審議】広島市歯科医療福祉対策協議会総会

(2) 学術部 (花岡理事)

- 2月10日 定例委員会
 2月14日 【Web会議】臨時委員会
 2月16日 Web学術講演会配信予行
 2月17日 令和3年度広島市歯科医師会WEB学術講演会

(3) 厚生部 (谷理事)

- 2月11日 B型肝炎抗体検査会場準備
 2月21日 定例委員会

(4) 地域歯科保健部

- 2月18日 【Web会議】定例委員会
 2月19日 【ハイブリッド会議】広島市歯科医療福祉対策協議会役員会
 " 【書面審議】広島市歯科医療福祉対策協議会総会

<地域保健> (若林理事)

- 2月4日 NHKお好みワイドひろしま取材
 " 広島市障害者差別解消支援地域会議(令和3年度第2回)書面会議
 2月9日 (県歯)地域保健部常任委員会
 2月14日 (県歯)広島口腔保健センター運営委員会
 2月16日 (県歯)職域における歯科保健推進会議小委員会
 2月17日 令和3年度広島市歯科医師会WEB学術講演会
 ・乳幼児集団健診の休止期間の延長について
 ・休診4地区輪番表について
 ・おくちの健康展についてアトラクトワンと協議
 福祉対策協議会実績状況

<地域連携> (藤田理事)

- 1月27日 令和3年度第2回広島市地域密着サービス運営懇談会
 1月28日 令和3年度第1回「摂食嚥下・口腔ケア対応力向上に向けた多職種連携の体制づくり検討」専門委員会事前打合わせ
 2月3日 西区介護認定審査会
 2月4日 令和3年度第1回「摂食嚥下・口腔ケア対応力向上に向けた多職種連携の体制づくり検討」専門委員会
 2月5日 令和3年度広島県短期集中予防サービス実践事例報告研修
 2月8日 令和3年度第2回医療事務スキルアップ人材育成プログラム検討委員会

- 2月 9日 (株)エポカケア対談
- 〃 グループホームふじの家瀬野対談
- 〃 ほほえみ(株)対談
- 2月10日 西区介護認定審査会
- 〃 令和3年度西区事例検討会
- 2月17日 西区介護認定審査会
- 〃 令和3年度第26回西区かかりつけ医推進委員会
- 2月21日 令和3年度第1回「摂食嚥下・口腔ケア対応力向上に向けた多職種連携の体制づくり検討」全体会議

<学校保健> (石田理事)

- 2月 6日 ちゅーピー子ども新聞「歯の学校」最終回

(5) 広報部 (水内理事)

- 2月 4日 【Web会議】校正委員会(だより2月号)
- 2月 8日 【Web会議】校正委員会(太田川)
- 2月10日 FMちゅーピー収録
- 2月18日 【Web会議】情報調査委員会

FMちゅーピー (放送日)

- 3月 2日 「保険診療と自費診療の違い」
広島市歯科医師会 光山素夫氏
- 3月16日 「子どもの矯正治療」
広島市歯科医師会 尾山奈々子氏

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

ホームページアクセス数
 一般サイト 訪問者 1,183 (累計 195,008)
 ページビュー 14,901 (累計 1,231,296)
 会員サイト 訪問者 309 (累計 34,217)
 ページビュー 1,864 (累計 241,120)
 広報部 … Talking Heads<最新情報>
 掲載件数 106件(1/21~2/20)
 LINE公式アカウント 登録者数
 2月18日 113名

(7) 特別委員会

(8) 救急蘇生委員会

(9) 各部事業計画について

(10) 歯科医療安全相談

「協議事項」

- (1) 入会について(2名)
東区支部1名、西区支部1名継続審議中
- (2) 会費について(1名)
終身会員資格取得による会費額変更について
1名承認
- (3) 令和4年度広島大学病院歯科臨床研修医セミナーについて
昨年同様YouTube配信を計画
- (4) 短期集中型口腔ケアサービス様式変更について
経過報告
- (5) ちゅーピー子ども新聞について
3月以降は広島市歯科医師会ホームページで
連載継続
- (6) 江波第二保育園、井口保育園の保育園嘱託歯科医の選任について
江波第二保育園、石嶋誠司氏の後任に長谷川聰氏を推薦することを承認。井口保育園、竹田芳弘氏の後任に堀健太郎氏を推薦することを承認。
- (7) 令和4年度休日歯科救急医療事業研修会について
3月終わりまでに行えるか日程調整、継続審議
- (8) 太田川について
第29号の発行部数の確認、送付先の確認修正
- (9) 令和4年度事業計画案・予算案について
3月承認のため準備を進めていく
- (10) 歯科情報サイトの利用について
学術的情報発信について継続審議
- (11) おくちの健康展について
開催することを前提で準備を進めていくことを確認
- (12) その他

「その他」

特になし

職員挨拶

新任挨拶



村山美由紀

2月より勤務させていただくことになりました、村山美由紀と申します。この仕事を通して先生方のお役に立ち、より多くの市民の皆様の健康をサポートできるよう、心を込めて業務に取り組みたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事水内裕之までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局

E-Mail: hirosshima@dentalpark.net

広報部担当理事 水内裕之

E-Mail: mizuuchi.shika@gmail.com

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : **Futaba**

本会PASS : **2622662**

協議会PASS : **welfare**

投稿記事締め切りは**毎月 25 日**です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

をお願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里 3 丁目 2 番 4 号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672



感染対策の基本はしっかりと！

広島市歯科医師会作成「不安な？歯医者」

<https://youtu.be/xnq0YK1MPao>



広島市歯科医師会は会員の皆様に対する情報提供の一助として会員専用のLINE 公式アカウント(非公開)を開設しました。



LINE 公式アカウント 友達募集中！

このアカウントは非公開のものです。
広島市歯科医師会会員にのみ配信します。会員のみ登録をお願いします。
登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。

友だち登録方法

QR コードで登録する方法

LINE アプリの「友達追加」画面から

「QRコード」を選択。

右のQRコードを読み込んで登録。

登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。



LINE の ID 検索で登録する方法

LINE アプリの「友だち追加」画面から「検索」を選択。ID で「@698zzkzc」を検索して登録。

登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。

今までの配信内容

- | | |
|---------|--|
| 1月 5日配信 | 忘れていませんか？補助金申請、今月末までです～～感染拡大防止等の支援～～ |
| 1月15日配信 | 令和4年新年互礼会 Web 配信のご連絡 |
| 1月18日配信 | 医療従事者等におけるワクチン追加接種(3回目接種)の接種可能時期について |
| 1月20日配信 | IT化推進に関するアンケート調査について(お願い) |
| 1月24日配信 | 小学校休業等対応助成金・支援金の対象期間の延長等について |
| 1月31日配信 | 令和3年度 広島市歯科医師会 WEB 学術講演会の開催について |
| 2月 1日配信 | 医療機能情報提供制度に係る令和3年度の定期報告について(通知) |
| 2月 2日配信 | 酸素購入価格の届出について |
| 2月 3日配信 | 抗原検査キット購入のお知らせ |
| 2月 8日配信 | 歯科医療従事者が濃厚接触となった場合の対応について
～ 条件満たせば期間短縮 ～ |
| 2月23日配信 | 新型コロナワクチン接種と局所麻酔手術のタイミングについて(周知) |
| 2月23日配信 | 薬事承認された抗原定性検査キットの無料配布について
(医療従事者である濃厚接触者に対する検査支援事業) |

新規登録時に 管理者側には登録した方の情報は届きません。必ず「自分の名前」「自分の診療所名」を下段のテキストボックスに入れて送信してください。